

令和8年度 林業技士養成研修・資格認定案内

養成研修の募集及び要件審査による資格認定のご案内

一般社団法人 日本森林技術協会



I はじめに

林業技士制度は、昭和 53 年に創設された森林・林業分野の専門技術者のための資格認定・登録制度です。国や地方公共団体等が発注する森林・林業関係事業において、重要な技術資格の一つです。これまでに 1 万 4 千人を超える技術者(森林組合、林業事業体、森林・林業関係コンサルタント企業等の職員)が登録され、全国各地の森林・林業の現場で活躍しています。

林業技士は、森林・林業分野における専門技術者として、森林経営計画の作成、木材生産の計画および実施、森林環境の保全、林道・作業道の整備、森林評価等の業務を担うものです。

本研修は、林業技士として必要な知識・技術を体系的に学び、専門技術者としての能力向上を図ることを目的としています。

II 林業技士の部門

林業技士には次の8部門があります

・林業経営 ・林業機械 ・森林土木 ・森林評価 ・森林環境 ・林産 ・森林総合監理 ・作業道作設

III 各部門の目標とする技術者像

部門	技術者像	業務内容
森林総合監理	<ol style="list-style-type: none"> 世界的な流れである持続可能な森林管理について造詣が深く、各種の森林の管理経営を助言、指導できる者 地域森林計画・市町村森林整備計画・森林経営計画等の森林計画の作成等を助言、指導できる者 森林認証等の実務ができる者 	持続可能な森林の管理経営、森林計画の作成、森林認証等森林の総合監理に関する実務(助言、指導を含む)
森林評価	<ol style="list-style-type: none"> 森林の売買、損失補償、相続等に関する林地・立木の評価を担える者 山林素地及び山元立木価格の調査手法やカーボンクレジットの動向等を理解している者 森林の売買、評価のために境界確定・林分調査ができる者 	森林(林地・立木)の価格評価等に関する実務
林業機械 (森林作業システム)	<ol style="list-style-type: none"> 対象森林の状況に応じて、生産性とコストに優れた最適な木材生産作業システムの選択ができ、各種林業機械を用いた木材生産の実行(作業道の作設を含む)を担える者 林業機械の安全作業を指導できる者 	林業機械による安全で効率的な木材生産システム等に関する実務
森林環境	<ol style="list-style-type: none"> 希少野生生物の保護・管理のための森林調査を担える者 森林生態系の推移を把握するためのモニタリング調査を担える者 環境影響評価の実務を担える者 自然環境保全のための法制度を理解している者 	生物多様性保全等のための森林管理、モニタリング調査、環境影響評価等に関する実務
森林土木	<ol style="list-style-type: none"> 治山・林道等の調査設計、施工管理を担える者 効果的な路網(林業専用道を含む林道)の計画・施工ができる者 計画・施工に当って、生物多様性保全等に配慮できる者 安全や法令手続きを遵守指導、チェックできる者 	治山・林道等の調査設計及び施工管理に関する実務
林業経営	<ol style="list-style-type: none"> 森林経営計画の作成ができる者(対象森林の状況に応じた目標林型や具体的な施業方法を計画できる者) 対象森林の状況に応じて、木材生産作業システムの選択や収支の概算を把握し、木材生産や造林の事業実行を担える者 木材の需要等の状況に応じ、最適な採材等ができる者 安全や法令手続きを遵守指導、チェックできる者 	森林経営計画の作成及び造林・木材生産事業等の調査・実行に関する実務
作業道作設	<ol style="list-style-type: none"> 対象森林の状況に応じて木材生産作業システムの選択ができ、地形・地質等の条件に応じ適切に作業道の路線選定及び作設ができる者 木材生産等の事業実行を担える者 	作業道の作設に関する実務
林産 本年度は募集しない	<ol style="list-style-type: none"> 川上の林業関係者にあつては、木材の需要(使われ方)の把握・分析ができ、最適な採材や販売、供給先の確保に対応できる者 川上を含む木材産業関係者にあつては、木材産業関連の基礎知識、技術、動向を総合的に理解し、木材産業の運営を担える者 	木材流通・加工・利用等に関する実務

Ⅳ 養成研修の概要

養成研修は、「通信研修(レポート課題)」+「スクーリング研修」の2段階で実施する制度です

1 通信研修(レポート課題)

【 期間 】

8月1日～9月30日(2か月間)

【 内容 】

- ・ テキスト等による自己学習
- ・ レポート提出(メール送付)
- ・ 審査による合否判定

【 レポート提出期限 】

- ・ 第1回 8月20日
- ・ 第2回 9月10日
- ・ 第3回 9月30日

※ 部門により、通信研修期間、レポート課題科目数、レポート課題の提出回数および合否通知の受領時期が異なる場合があります

2 スクーリング研修

通信研修合格者(前年度通信研修合格者含む)を対象に実施します。

【 期間 】

10月中旬～12月上旬

※ 日程の詳細は、各部門の募集案内をご確認ください

【 試験 】

研修最終日の午後に筆記試験を実施します。

※ 部門により、試験科目数が異なります

Ⅴ 資格要件審査の概要

「森林土木部門」および「作業道作設部門」は、一定の実務経験を有する方を対象に、レポート審査および筆記試験を経て資格を取得します。

※ 詳細は、各部門の募集案内をご確認ください

VI 林業技士資格取得の流れ

A 養成研修

① 申込み

期間:5月1日～6月30日

- *複数部門を一度に受験することも可能
- *前年度通信研修合格された方も申込みが必要



開講のご連絡/通信研修(レポート課題)・テキスト等を発送(7月下旬)



② 通信研修(レポート課題)

- ・教科:4～6教科
- ・期間:8月1日～9月30日



通信研修レポート審査/合否の通知(10月中旬～)



③ スクーリング研修

- ・受講資格:通信研修合格者
- ・期間:4日間(林業経営部門は5日間)
10月下旬～12月上旬に開催
部門ごとに実施
(最終日に試験)
- ・場所:東京都内



スクーリング成績評価



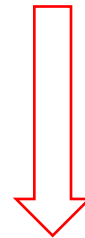
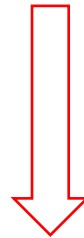
B 資格要件審査

① 申込み

7月1日～8月31日

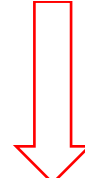
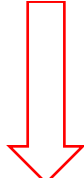
【森林土木部門】

【作業道作設部門】



実施のご連絡/レポート課題・テキストを発送(9月下旬)

実施のご連絡/レポート課題・テキストを発送(9月中旬)



② レポート作成・提出

- ・教科:5教科
- ・提出期間:10月1日～11月10日

② 試験

- ・教科:3教科
- ・試験日:10月31日



レポート・筆記試験審査



合格予定者の決定(2月上旬)



森林系技術者養成事業運営委員会(2月上旬)

(注)有識者等で構成される「森林系技術者養成事業運営委員会」による審議を経て公表

合否の通知(2月中旬)/新規登録申請(合否の通知後～3月中旬まで)



林業技士の登録、技士登録証の発行(技士資格の付与)

Ⅶ 受講・受験資格

受講しようとする部門に係る業務に従事した期間(満 18 歳未満の期間を除き、断続して従事した場合は従事期間のみを通算する)が、次表に定める年数以上であることが必要です。

学 歴	経験年数	
	林業関係学科卒業後	林業関係学科以外卒業後
大学院	5年以上	10年以上
大学	7年以上	10年以上
短期大学	10年以上	12年以上
林野庁研修規程による養成研修専攻科	10年以上	—
高等学校	12年以上	14年以上
その他	14年以上	

※ 部門により受講・受験資格が異なりますので、各部門の募集案内をご確認ください

1 受講の申込み

(1) 申込みの期間

① 養成研修

5月1日～6月30日必着

② 資格要件審査

令和8年7月1日～8月31日必着

※ 締切日を過ぎた申請書は受理いたしません

(2) 申込み方法

以下①～③の書類をそろえてご郵送ください

① 林業技士養成研修受講申込書(様式1-1)

森林総合監理部門を希望する方は(様式1-2)

※ 様式は当協会のHPからダウンロードしてください

② 卒業(修了)証書の写又は卒業(修了)証明書の写し

※ 「Ⅶ 受講・受験資格」における必要経験年数以上かつ14年未満の方のみ提出が必要

③ 写真(6カ月以内に撮影したもの)

- ・縦4cm×横3cm
- ・上半身・正面・無帽
- ・受講申込書の右上隅に貼付してください

※ 提出書類は返却いたしません

※ 提出書類および添付物は、本研修に関する事務処理のみに使用します

※ 書類に不備がある場合は、受付せず返送または再提出をお願いすることがあります
余裕をもってご提出ください

注) 資格要件審査の申込み方法は募集案内をご覧ください

(3)送付先

〒102-0085 東京都千代田区六番町 7 番地

一般社団法人 日本森林技術協会 森林系技術者養成事務局

(4)受講料の納入

開講が決定次第、開講案内、請求書をメールにてお送りいたします。

案内に従って受講料をお納めください。

(5)問い合わせ先

一般社団法人 日本森林技術協会 森林系技術者養成事務局

TEL:03-3261-6692 E-mail:jfe@jafta.or.jp

Ⅷ 養成研修募集案内

林産部門は本年度募集しない。

1 森林総合監理部門

(1) 研修日程

① 通信研修（レポート課題）

期間：令和8年8月1日～9月10日

レポート提出日：第1回8月20日／第2回9月10日（全4科目）

② スクーリング研修

期間：令和8年10月20日～10月23日（4日間）

会場：日林協会館 会議室（予定）東京都千代田区

(2) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」に加え、以下のいずれかの要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「林業若しくは関連学科に関する課程」と読み替えることができる

- ① 森林計画の策定や実行など、各種森林の管理経営に関する業務について、指導的立場での経験年数が10年以上あり、これを含め実務経験が20年以上ある者
- ② 森林計画の策定や実行など、各種森林の管理経営に関する業務について、実務経験が10年以上あり、林業技士資格の「林業経営部門」に加え「他部門」の資格を併せて有する者
- ③ 森林計画の策定や実行など、各種森林の管理経営に関する業務について、実務経験が10年以上あり、技術士（林業部門）、博士号取得者、または林業普及指導員（林業専門技術員を含む）のいずれかの資格を有する者

(3) 申込み方法

「Ⅶ 受講・受験資格」1 受講の申込み (2) 申込み方法と同じ

(4) 受講料

① 通信研修（テキスト代含む） 39,600円（36,000円＋税）

※前回（令和6年度）に通信研修を合格の方は、テキストについて事務局にご相談ください

② スクーリング研修 33,000円（30,000円＋税）

(5) 定員

35名（受付順）

※申込者数が10名以下の場合、開催を取りやめることがあります

(6) 推奨図書

通信研修において必要となる場合がある図書です
必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

- ・「林業がつくる日本の森林」築地書館 1,800円＋税
- ・「概説 森林認証」海青社 2,800円＋税

林業がつくる 日本の森林

修養誌部 ⑧

平林部におたつて森林生産に資する技術の普及に資する
1. 森林の持続可能な管理
2. 森林の持続可能な利用
3. 森林の持続可能な再生
4. 森林の持続可能な保護
5. 森林の持続可能な利用
6. 森林の持続可能な再生
7. 森林の持続可能な保護
8. 森林の持続可能な利用
9. 森林の持続可能な再生
10. 森林の持続可能な保護

概説 森林認証

Outline of Forest Certification



編集
文庫編者
白石利雄

編集委員
上野 薫
中川謙郎



2 森林評価部門

(1) 研修日程

① 通信研修（レポート課題）

期間：令和8年8月1日～9月10日

レポート提出日：第1回8月20日／第2回9月10日（全4科目）

② スクーリング研修

期間：令和8年10月27日～10月30日（4日間）

会場：日林協会館 会議室（予定）東京都千代田区

(2) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」の要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「林業若しくは関連学科に関する課程」と読み替えることができる

(3) 申込み方法

「Ⅶ 受講・受験資格」1 受講の申込み（2）申込み方法と同じ

(4) 受講料

① 通信研修（テキスト代含む） 39,050 円（35,500 円＋税）

※前年（令和7年）度に通信研修を合格の方は、テキストについて事務局にご相談ください

② スクーリング研修 33,000 円（30,000 円＋税）

(5) 定員

35名（受付順）

※申込者数が10名以下の場合、開催を取りやめることがあります

(6) 推奨図書

通信研修において必要となる場合がある図書です

必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

・「林業関係税制ガイドブック」日本林業経営者協会 1,727 円＋税

・「いざ実践！森林境界明確化 問題のとらえ方と解決の仕方」全国林業改良普及協会
2,200 円＋税



3 林業機械部門

(1) 研修日程

① 通信研修（レポート課題）

期間：令和8年8月1日～9月30日

レポート提出日：第1回 8月20日／第2回 9月10日／第3回 9月30日（全5科目）

② スクーリング研修

期間：令和8年11月10日～11月13日（4日間）

会場：日林協会館 会議室（予定）東京都千代田区

(2) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」の要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「林業若しくは関連学科に関する課程」と読み替えることができる

(3) 申込み方法

「Ⅶ 受講・受験資格」1 受講の申込み（2）申込み方法と同じ

(4) 受講料

① 通信研修（テキスト代含む） **44,110 円**（40,100 円＋税）

② スクーリング研修 **33,000 円**（30,000 円＋税）

(5) 定員

35 名（受付順）

※申込者数が10名以下の場合、開催を取りやめることがあります

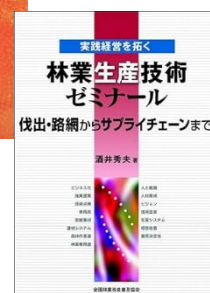
(6) 推奨図書

通信研修において必要となる場合がある図書です

必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

・「機械化のマネジメント」全国林業改良普及協会 4,800 円＋税

・「実践経営を拓く 林業生産技術ゼミナール」全国林業改良普及協会 3,600 円＋税



4 森林環境部門

(1) 研修日程

① 通信研修（レポート課題）

期間：令和8年8月1日～9月30日

レポート提出日：第1回 8月20日／第2回 9月10日／第3回 9月30日（6科目）

② スクーリング研修

期間：令和8年11月17日～11月20日（4日間）

会場：日林協会館 会議室（予定）

(2) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」の要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「森林環境に関する課程」と読み替えることができる

(3) 申込み方法

「Ⅶ 受講・受験資格」1 受講の申込み（2）申込み方法と同じ

(4) 受講料

① 通信研修（テキスト代含む） **41,250**円（37,500円＋税）

※前年（令和7年）度に通信研修を合格の方は、テキストについて事務局にご相談ください

② スクーリング研修 **33,000**円（30,000円＋税）

(5) 定員

35名（受付順）

※申込者数が10名以下の場合は、開催を取りやめることがあります

5 森林土木部門

(1) 研修日程

① 通信研修（レポート課題）

期間：令和8年8月1日～9月30日

レポート提出日：第1回 8月20日／第2回 9月10日／第3回 9月30日（5科目）

② スクーリング研修

期間：令和8年11月24日～11月27日（4日間）

会場：日林協会館 会議室（予定）

(2) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」の要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「土木工学に関する課程」と読み替えることができる

(3) 受講料

① 通信研修（テキスト代含む） 44,000円（40,000円＋税）

※前年（令和7年）度に通信研修を合格の方は、テキストについて事務局にご相談ください

② スクーリング研修 33,000円（30,000円＋税）

(4) 定員

35名（受付順）

※申込者数が10名以下の場合、開催を取りやめることがあります

(5) 推奨図書

通信研修において必要となる場合がある図書です

必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

- ・「治山技術基準解説 総則・山地治山編」日本治山治水協会 5,400円＋税
- ・「道づくり技術の実践ルール」全国林業改良普及協会 2,300円＋税
- ・「市町村担当者のための林道入門」全国林業改良普及協会 4,000円＋税



6 林業経営部門

(1) 研修日程

① 通信研修（レポート課題）

期間：令和8年8月1日～9月30日

レポート提出日：第1回 8月20日／第2回 9月10日／第3回 9月30日（6科目）

② スクーリング研修

期間：令和8年11月30日～12月4日（5日間）

会場：主婦会館プラザエフ 7階カトレア（予定）

(2) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」の要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「林業若しくは関連学科に関する課程」と読み替えることができる

(3) 受講料

① 通信研修（テキスト代含む） **42,900円**（39,000円＋税）

※前年（令和7年）度に通信研修を合格の方は、テキストについて事務局にご相談ください

② スクーリング研修 **38,500円**（35,000円＋税）

(4) 定員

100名（受付順）

※申込者数が10名以下の場合は、開催を取りやめることがあります

(5) 推奨図書

通信研修において必要となる場合がある図書です

必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

・「林業がつくる日本の森林」築地書館 1,800円＋税

林業がつくる 日本の森林

藤森隆郎 著

甲斐駒にわたって森林生態系と森林の経営に携わってきた著者が、
豊富な経験と深い知識を基に、
産業界として森林経営で、
企業多様性に貢献したい日本の森林の現状を、
日本列島各地で、さまざまな条件のもと撮影されている
数々の写真と図表を駆使して、
読者の理解を促す。

築地書館



Ⅸ 資格要件審査募集案内

1 森林土木部門(審)

(1) 期間

レポート課題及びテキスト送付後（9月中旬）～ 11月10日

レポート提出日：令和8年11月10日

(2) 科目

「林道技術」、「治山技術」、「保安林制度」、「労働安全衛生」、「作業システムと路網計画」

(3) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」に加え、以下のいずれかの要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「林業若しくは関連学科に関する課程」と読替えることができる

- ① 1級土木施工管理技士であって森林土木に関する業務の実務経験が7年以上あること

(4) 申込み方法

以下①～③の書類をそろえてご提出ください

- ① 林業技士登録資格認定申請書（様式 2-1 森林土木部門用）

※ 様式は当協会の HP からダウンロードしてください

- ② 1級技術検定合格証明書（写し）

- ③ 写真（6カ月以内に撮影したもの）

・縦 4cm×横 3cm

・上半身・正面・無帽

・受講申請書の右上隅に貼付してください

※ 提出書類は返却いたしません

※ 提出書類および添付物は、本研修に関する事務処理のみに使用します

※ 書類に不備がある場合は、受付せず返送または再提出をお願いすることがあります
余裕をもってご提出ください

(5) 審査料

44,550 円（40,500 円＋税、テキスト代含む）

※ 納付方法は、Ⅶの 1（4）「受講料の納入」と同様です

(6) 推奨図書

必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

・「治山技術基準解説 総則・山地治山編」日本治山治水協会 5,400 円＋税

・「実践経営を拓く 林業生産技術ゼミナール」全国林業改良普及協会 3,600 円＋税

2 作業道作設部門(審)

(1) 選考方法

筆記試験を行い、その成績をもとに判定

試験日:令和8年10月30日

場所:日林協会館 5階会議室(予定)

(2) 科目

「森林施業と作業システム」、「作業道の路線選定」、「作業道の作設」

(3) 受講資格

「Ⅶ 受講・受験資格」に加え、以下のいずれかの要件を満たすこと

ただし、「林業関係学科」を「林業若しくは関連学科に関する課程」と読替えることができる

- ① 林業技士「林業経営部門」の有資格者であって作業道の作設に関する業務の実務経験が5年以上あるとともに概ね20km以上の作業道の作設経験があること

(4) 申込み方法

以下①～③の書類をそろえてご提出ください

- ① 林業技士登録資格認定申請書(様式2-2 作業道作設部門用)

※ 様式は当協会のHPからダウンロードしてください

- ② 写真(6カ月以内に撮影したもの)

・縦4cm×横3cm

・上半身・正面・無帽

・受講申請書の右上隅に貼付してください

※ 提出書類は返却いたしません

※ 提出書類および添付物は、本研修に関する事務処理のみに使用します

※ 書類に不備がある場合は、受付せず返送または再提出をお願いすることがあります

余裕をもってご提出ください

(5) 審査料

38,500円(35,000円+税)

※ 納付方法は、Ⅶの1(4)「受講料の納入」と同様です

(6) 参考図書

筆記試験の出題範囲の対象となる図書です

必要に応じて、書店または出版元にお問い合わせください

・「実践経営を拓く 林業生産技術ゼミナール」全国林業改良普及協会 3,600円+税

・「作業道 路網計画とルート選定」全国林業改良普及協会 3,200円+税

・「作業道ゼミナール 基本技術とプロの技」全国林業改良普及協会 3,500円+税

・「写真図解 作業道づくり」全国林業改良普及協会 2,500円+税

・「図解これならできる山を育てる道づくり」農山漁村文化協会 2,200円+税

・「森林作業道づくり」日本森林技術協会 2,500円+税

一般社団法人 日本森林技術協会 森林系技術者養成事務局

E-mail:jfe@jafta.or.jp

Tel:03-3261-6692 Fax:03-3261-5393

